

中 津 川 市 情 報 シ ス テ ム 基 盤 構 築 事 業
情 報 提 供 依 頼 書 （ R F I ）

令和 7 年 9 月

中津川市総務部 DX 戦略課

RFI 実施要領

1. 趣旨

近年、サイバー脅威は高度化し、情報漏洩やシステム停止のリスクは拡大している。また、職員数減少も避けて通れない状況の中で、従来どおりの行政手続きや市民対応を維持することは困難になることが予測される。このような厳しい環境下においても、良好な行政サービスを維持するためには、それを支える情報システム基盤を早急に整備することが必要である。

その実現に向けて、本市は次の三本の柱を進めることとし検討を開始している。

三本の柱は、それぞれ「安全性」・「効率性」・「基盤高度化」を担い、相互に補完し合うことで組織全体の安定性と強靭さを高め、深刻化する環境の中でも行政サービスを継続できる「持続可能な行政運営」の確立を目指す。

- ・【セキュリティ強化】 VDI 導入
- ・【業務効率の向上】 α' モデル環境の構築（クラウド直利用基盤）
- ・【情報基盤の高度化】 グループウェア更改

具体的な事業内容は次のとおりである。

【セキュリティ強化】

情報漏洩リスクを大幅に低減し、障害発生時の迅速な復旧を可能とすることでセキュリティ強化を図るため、マイナンバー系 PC250 台に対して VDI（仮想デスクトップ）を導入。

【業務効率の向上】

庁内手続きや職員業務の効率化を推進するため、クラウドサービスを直接かつ安全に活用できる α' モデル環境を構築。

【情報基盤の高度化】

文書共有・共同編集、チャットやオンライン会議等による情報共有の高度化を図るため、現行の〔自治体向けグループウェア C-navi〕を更改。

この取組を進めるにあたり、実現可能性、費用レンジ、導入事例・ベストプラクティスの収集等について広く情報を収集し、今後の調達要件整理に資するため、事業者からの情報提供を依頼するものである。

2. 実施目的

- ・ 市場動向の把握
- ・ 各方式のメリット・デメリット、リスク要因の把握
- ・ 概算費用レンジの確認
- ・ 実現可能な導入スケジュールの把握
- ・ 導入事例・ベストプラクティスの収集

3. 対象範囲

- ① VDI 導入：マイナンバー系 PC 250 台（窓口専用 PC50 台は対象外）

- ② α'モデル環境構築：三層分離を前提としたクラウド直利用環境
- ③ グループウェア更改：職員 900 人利用、共同編集・検索・オンライン会議等を含む包括的なグループウェア

4. 依頼事項

各事業者は、本市の課題および目的に即した方式・製品・サービスについて「RFI 質問事項」に沿って、別紙「RFI 回答様式」により情報をご提供ください。

5. 質問受付

- ・ 質問受付期間：〔公表日～10 月 3 日〕
- ・ 質問方法：〔電子メール〕のみとします。
 - ※ 様式は任意とします。
 - ※ メール件名は「【質問 RFI】ネットワーク再構築事業」としてください。
 - ※ メール受信後に確認完了メールを返信します。
- ・ 回答方法：市ホームページにて一括公表します（個別回答は行いません）。

6. 回答受付

- ・ 提出形式：〔Word／Excel／PDF〕とします。
- ・ 提出方法：〔電子メール〕のみとします。
- ・ 提出部数：〔1 部〕
 - ※ メール件名は「【RFI】ネットワーク再構築事業」としてください。
 - ※ メール容量が 10MB を超える場合はファイル転送サービスを使用してください。
 - ※ メール受信後に確認メールを返信します。
- ・ 提出期限：〔令和 7 年 10 月 24 日（金）〕
- ・ 提出先：〔中津川市役所 総務部 DX 戦略課〕

E-mail：itsystem-aws【アットマーク】city.nakatsugawa.lg.jp

7. スケジュール

- ・ 質問受付期間 公表日から～10 月 3 日（金）
- ・ 質問回答日 令和 7 年 10 月 10 日（金）
- ・ 提出期限 令和 7 年 10 月 24 日（金）当日受信分まで有効とします。
- ・ 資料説明ヒアリング 令和 7 年 11 月上旬を目途に必要なに応じて実施します。（日程は別途調整）

8. 記入要領

- ・ 回答はすべて「RFI 回答様式」にご記入ください。
- ・ 費用は百万円単位で小数第 1 位まで記載してください。（第 2 位以下は切上げ）
- ・ 秘密情報を含む場合は、該当箇所に「秘密情報」と明記してください。
- ・ 提出ファイル名は「(会社名) RFI 回答様式」としてください。
- ・ 回答以外に、必要に応じて参考資料（構成図、SLA 条件、認証証跡、その他説明資料 等）を添付してください。

- ・ 添付資料は、回答と同じメールに添付し、ファイル名は内容が確認できるものとしてください。

9. 守秘義務

本情報提供において得られた情報は、調達検討の参考資料としてのみ使用し、当該目的以外には使用しません。事業者側から「秘密情報」と明記された情報については、秘密を保持します。

10. 留意事項

- ・ 本情報提供依頼は、今後の導入検討に資するための情報収集を目的とするものであり、調達や事業者選定を保証するものではありません。
- ・ 本情報提供依頼への回答に要する費用は、すべて回答者の負担とします。
- ・ 提出内容について、必要に応じてヒアリングを依頼する場合があります。
- ・ 提出書類は返却しません。

RFI 質問事項

1. 前提条件

- ① 職員数：1,200 人
- ② マイナンバー系 PC 総数：300 台
 - ・ マイナンバー系 PC：窓口用 50 台を除いた 250 台を VDI 化対象
 - ・ ユーザ数：500 人
- ③ グループウェア利用者：900 人
- ④ 既存課題
 - ・ セキュリティクラウド接続に伴うマイナンバー系のセキュリティ確保
 - ・ 三層分離環境（マイナンバー系／LGWAN 系／インターネット系）の制約あり
 - ・ 現行グループウェアは基本機能（スケジュール、会議室予約、共用車予約、備品予約、メッセージ）であり、情報共有や共同編集などの高度機能が不足

2. 共通編（全領域共通で回答必須）

- ① 提供体制
 - ・ 直販／再販、拠点体制、セキュリティ認証（ISO/IEC 27001、ISMAP 等）
- ② サービス条件
 - ・ SLA、保守窓口、データ所在地
- ③ セキュリティ
 - ・ ゼロトラストの適用方式、ログ提供の可否、第三者評価（ISMAP 認証対象、ISO/IEC 27017/27018、SOC2 Type2 等）への対応有無
- ④ 端末管理システムとの連携可否
 - ・ MDM/EMM 等による端末制御
- ⑤ 費用（全体）：初期費用／年額費用／5 年累計
 - ・ 各区分（VDI 導入・ α 'モデル環境・グループウェア更改）の費用に、必要に応じて横断的経費（例：共通サポート契約、認証維持費 等）を加える（詳細は RFI 回答様式に記載）
 - ・ 算出不可であれば概算または費用レンジでの提示も可
- ⑥ PoC（Proof of Concept「概念実証」）
 - ・ 小規模試行可否／原則的な考え方

3. 個別編

VDI 導入に関する質問

- ① 対象
 - ・ マイナンバー系 PC 250 台（窓口専用 50 台は除外）
- ② 認証／ログ
 - ・ MFA、操作ログ保存方法

- ③ 同時接続率を前提とした性能・費用見積もり
 - ・ 目安として 75%程度を想定。異なる場合は理由と根拠を明記。ピーク時間帯を考慮すること
- ④ ネットワークプリンタ接続方式
 - ・ 例：プリントサーバ経由、VDI 側ドライバ管理 等
- ⑤ 利用可能なセキュリティ機能
 - ・ 例：セキュアプリント、IC カード認証、印刷ログ管理 等
- ⑥ LGWAN 系システムとのデータ受け渡し方式
 - ・ 例：無害化装置、専用ゲートウェイ、アプリケーション連携 等
- ⑦ 費用：初期費用／年額費用／5 年累計
 - ・ 可能な範囲で、ライセンス費用、初期構築・設定費用、保守・運用サポート費用、その他（オプション機能、トレーニング等）に区分して提示
 - ・ 算出不可であれば概算または費用レンジでの提示も可
- ⑧ PoC 実施可能性と条件
 - ・ PoC 期間、対象ユーザ数、利用可能な機能範囲、費用負担の有無
 - ・ 可能な範囲で、PoC において検証可能な項目（例：性能、認証連携、セキュリティ制御、データ移行適合性 等）を提示
- ⑨ 導入事例

α'モデル環境構築に関する質問

- ① クラウド直利用のために一般的に採用される方式
 - ・ CASB、SWG、ゼロトラスト接続方式 等の具体的な事例
- ② 各方式における主なリスク要因と対応策
 - ・ リスク要因：運用負荷、ベンダーロックイン、パフォーマンス低下、可用性、コスト変動、障害発生時の影響範囲 等
 - ・ 対応策：推奨運用体制、バックアップ方式、代替手段 等
- ③ 各方式におけるリスク発生時の責任分界点
 - ・ （事業者側責任・自治体側責任の範囲）、RTO／RPO、障害時の代替経路や切替手順
- ④ 費用：初期費用／年額費用／5 年累計
 - ・ 可能な範囲で、ライセンス費用、初期構築・設定費用、保守・運用サポート費用、その他（オプション機能、トレーニング等）に区分して提示
 - ・ 算出不可であれば概算または費用レンジでの提示も可
- ⑤ 第三者評価・認証（ISMAP、ISO 27001、SOC 2 Type2 等）
- ⑥ PoC 実施可能性と条件
 - ・ 対象ユーザ数、試行期間、提供可能な機能範囲、性能測定項目、費用負担の有無
 - ・ 可能な範囲で、PoC において検証可能な項目（例：性能、認証連携、セキュリティ制御、データ移行適合性 等）を提示
- ⑦ 導入事例

グループウェア更改に関する質問

- ① 対象利用者数：900 人
- ② 必須機能
 - ・ スケジュール管理、予約機能（会議室・共用車・備品）、メッセージ機能
- ③ 参考機能・提案機能
 - ・ 文書の共同編集、全文検索、ファイル管理、チャット、オンライン会議、その他有効と考える機能（AI 支援、ワークフロー、自動翻訳、SSO、モバイル連携 等）。
 - ・ 標準／オプション／不可を明示し、オプションの場合は追加費用を提示
 - ・ 導入による業務効率化効果や市民サービス向上効果を記載
- ④ 非機能要件
 - ・ モバイル・庁外アクセスの可否（セキュリティ条件付き）、
 - ・ SLA・可用性（稼働率、RTO、RPO）の目安
- ⑤ 移行支援データ移行対象
 - ・ 会議室予約、共用車予約、備品予約 等）と移行方法
 - ・ ユーザ情報（アカウント、所属組織 等）の移行可否および内部システム（AD・人事給与システム等）との整合方法
- ⑥ 教育支援（対象：全職員／管理職／システム管理者）
- ⑦ 費用：初期費用／年額費用／5 年累計
 - ・ 可能な場合は契約年数 60 か月／80 か月の場合の累計費用も提示
 - ・ バージョンアップや更改に伴う追加費用が想定される場合は、その内容と発生条件を明記
 - ・ 可能な範囲で、ライセンス費用、初期構築・設定費用、保守・運用サポート費用、その他（オプション機能、トレーニング等）に区分して提示
- ⑧ PoC 実施可否と条件
 - ・ 対象ユーザ数、試行期間、利用可能機能範囲、費用負担の有無
 - ・ 可能な範囲で、PoC において検証可能な項目（例：性能、認証連携、セキュリティ制御、データ移行適合性 等）を提示
- ⑨ 効果記載にあたっては、可能な範囲で定量例を提示
 - ・ 例：職員 1 人当たり年間削減時間、会議調整時間の短縮率 等
- ⑩ 導入事例

4. その他

本項の質問は、三本の柱を総合的に検討するうえで有益な情報を収集するための設問である。必須回答項目ではないが、可能な限り回答を求めるもの。

参考質問 1 Microsoft 更新プログラム配信サービス

- ・ クラウドサービスの活用として、従来型 WSUS に依存しない更新プログラム配信方式の提案。
- ・ 従来方式との比較、運用負荷・セキュリティリスク・費用の観点からの利点・留意点の提示。

参考質問 2 LGWAN 系とマイナンバー系間のデータ移動

- ・ LGWAN 系とマイナンバー系間のデータについて、セキュリティを確保した上での効率的な移動方式の提案。
- ・ 導入事例や実証結果の提示。

5. 評価観点

- ① マイナンバー系 250 台 VDI 化の実現可能性
- ② 窓口専用 PC を残置した設計の妥当性
- ③ グループウェアにおける必須機能の継承と、参考機能による業務効率化効果
- ④ VDI 環境でのネットワークプリンタ接続方式の妥当性
- ⑤ 当該方式で利用可能なセキュリティ機能の妥当性
- ⑥ α' モデル環境に関する方式事例・費用レンジ・リスク要因・責任分界点・RTO/RPO と対応策の妥当性
- ⑦ 5 年スパンでの TCO の現実性（含むコスト要素：ハードウェア更改費、ライセンス費用、運用・保守費用、サポート人件費 等）
- ⑧ 業務効率化効果の定量化有無（例：職員 1 人当たりの削減時間、業務プロセス短縮効果、定量的な試算根拠）